

第17回日本臨床腫瘍学会学術集会

2019 the Japanese Society of Medical Oncology Annual Meeting

プレスセミナー

日時 2019年6月20日(木) 17:00~18:50 (受付開始 16:30~)

会場 国立がん研究センター 新研究棟 大会議室
〒100-0045 東京都中央区築地 5-1-1

申込方法 プレスセミナーに参加を希望される方は **6月17日(月) までに**、別紙申込書にご記入のうえ、**FAX (0120-773-685) または E-mail (press_jsmo@dentsu-mc.co.jp) でお申込みください。**

学術集会の発表演題から、注目トピックスをプレスセミナーにて最速公開!

来る学術集会で注目のトピックスと演題を、エキスパートの先生方が報道関係者の皆様に向けていち早くレビューいたします。遺伝子パネル検査の臨床導入から遺伝性腫瘍におけるチーム医療の人材育成にいたるまで、本格化するがんゲノム診療をとりまく現状と課題を解説するとともに、がん研究の国際化が加速するなかでのJSMOの取り組みや将来の展望をご紹介します。

プログラム

- 17:00~ **はじめに**
光富 徹哉 (日本臨床腫瘍学会 広報渉外委員会 委員長 / 近畿大学医学部外科学教室 呼吸器外科部門 主任教授)
- 17:01~ **日本臨床腫瘍学会活動状況**
南 博信 (日本臨床腫瘍学会 理事長 / 神戸大学大学院医学研究科 腫瘍・血液内科 教授)
- 17:10~ **第17回学術集会の展望とトピックス**
がんゲノム診療 元年 — Novel, Challenge and Change —
藤原 康弘 (第17回日本臨床腫瘍学会学術集会 会長 / 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 理事長 / 国立がん研究センター中央病院)
- 17:30~ **がんゲノム診療**
 - 1 遺伝子パネル検査の保険診療導入
河野 隆志 (国立がん研究センター研究所 ゲノム生物学研究分野 分野長)
 - 2 がんゲノム診療を支える人材
— チーム医療・エキスパートパネルを支える人材育成の現状について
西尾 和人 (近畿大学医学部ゲノム生物学教室 教授)
- 18:10~ **JSMOの国際展開について**
石岡 千加史 (日本臨床腫瘍学会 国際委員会 委員長 / 東北大学加齢医学研究所 臨床腫瘍学分野 教授)
- 18:30~ 事務連絡
- 18:35~ 質疑応答

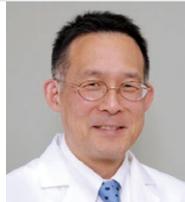
※ 終了後、名刺交換のお時間を設けております

第17回日本臨床腫瘍学会学術集会

2019 the Japanese Society of Medical Oncology Annual Meeting

期間 ▶ 2019年7月18日(木)～20日(土)

会場 ▶ 国立京都国際会館
グランドプリンスホテル京都



藤原 康弘

第17回日本臨床腫瘍学会学術集会 会長
独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 理事長
国立がん研究センター中央病院

テーマ

がんゲノム診療 元年

— Novel, Challenge and Change —

がんゲノム診療が本格化を迎えるなか、本学術集会では、「がんゲノム診療 元年」をテーマとし、「Novel, Challenge and Change (革新への挑戦と変革)」のサブテーマにもあるとおり、生命倫理や医療経済など社会医学の視点も取り入れながら、最新の研究と臨床について参加者の皆さんで活発に議論できる場となるようなプログラムを準備いたしました。

がんゲノム診療の本格化

今年よりがん関連遺伝子パネル検査が保険診療に導入され、がんゲノム診療が本格化します。しかしながら、遺伝子情報を利用した治療や患者支援においては医師のみならず薬剤師、看護師等の専門職もゲノム診療について理解する必要があり、チーム医療に携わるスタッフの人材育成が急務です。本学術集会では、ゲノム情報を利用したがん診療の現状と課題、未来のあり方を、多職種で活発に議論していきます。

学術集会は国際学会へ

ボーダレスな時代を迎えるなか、質の高い情報発信によるアジアのがん薬物療法の日常臨床の変化を目指し、学術集会の全面的な改革も実行されています。プレジデンシャルセッションでは、重要演題を国内外の著名なディスカッサントとともにレビューします。また、科学性の高いオーラルおよびミニオーラルセッションの発表は英語とし、アジア各国や欧米からの参加者も多数お迎えする体制を整えて国際化を加速しています。

「患者中心主義」の充実に向けて

患者さんを中心としたがん研究と医療を充実させるには、診療の場で患者さんを支援する多職種のかかわりとともに、社会やアカデミアとの協働もこれまで以上に推進する必要があります。本学術集会では、多職種連携プログラム、患者支援やサバイバーシップをテーマとしたプログラムのほか、患者さんやご家族に向けたプログラムもさらに充実させ、広い視野からのディスカッションが行われます。

第17回日本臨床腫瘍学会学術集会プレスセミナーに
是非ご参加ください。

がん医療に関する有益な情報を、社会に還元するきっかけとしていただければ幸いです。
報道関係者の皆様のお越しを心よりお待ちしております。

第17回日本臨床腫瘍学会学術集会については、
ホームページ、Facebookにおいて、
随時情報を更新中です。